



# SDGs4T プロジェクト

SDGs4T プロジェクトとは、保育園児から高校生までを対象とした体験型ワークショップイベントです。「日常生活・体験から気付くSDGs」をテーマに、企業と行政が協力して実施しています。イベントの開催回数は、20回を超え、各企業が趣向をこらした内容を企画しています。

今回は、各企業の担当者の思いや、参加した市民の声を紹介します。

## [4T]の意味

[4T] は、Touch (触れる)、To make (作る)、Think (考える)、Tell (伝える) の頭文字。それぞれ、保育園児、小学生、中学生、高校生に応じて、子どもの成長に合わせた体験を提供していくという意味が込められています。

商工観光課 和波 遥菜

## 企業を知るいい機会に

今の子どもたちは、学校の授業でSDGsを学んでいるので、そこから更に踏み込んで、企業の具体的な取り組みについて知り、体験することが大切です。単に、座学よりも体験の方が記憶に残りやすいというだけでなく、地元企業を知り、そこでいきいきと働く社員の

姿を見ることで、将来の職業選択の幅が広がります。実際に、イベントの多くは少人数制で、社員と参加者が濃い関係を作れるよう配慮されています。また、親子の参加者からは、「市内に世界シェアナンバーワンの企業があることを知れた」、「市を誇りに思えるきっかけになった」という声もいただいています。

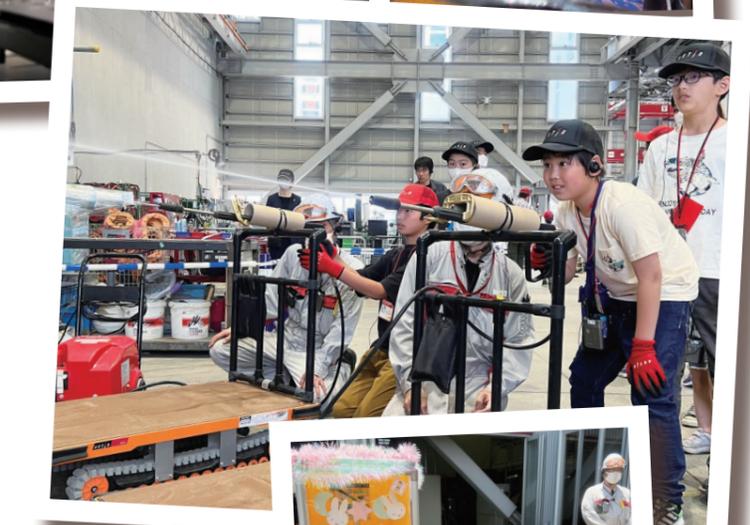
プロジェクトに協力する企業は、どこも本気で参加者を楽しませよう、学ばせようと工夫をしています。SDGsを難しく考えず、「楽しそう」「会社を見てみたい」など、気軽な参加をお待ちしています。



◀ 4Tプロジェクトの詳細はこちら



# イベントの紹介



## 株式会社アクティオ 「工場見学や体験から 気づく SDGs」

▶多くの機材が並ぶ工場で、見学者自ら作ったバイオディーゼル燃料でポンプを動かしたり、バッテリー機関車に乗ったりなど、楽しみながらSDGsを学べます。



統括工場長 林豊さん



動画はコチラ

### アクティオのファンになってほしい

アクティオは、建設機械や重機のレンタルなどを行う企業です。施設を見学した子どもたちが感動してもらえるようにイベントの内容を考えています。主に統括工場長が企画するのですが、他の社員からの「こうしたらもっと楽しいかも」という具体的なアイデアも取り入れて形にしています。高圧洗浄機での的当てや、お土産用の手作りカプセルトイ、コスプレした社員の登場など、毎年違うことを試しており、記憶に残る感動を届けることをモットーにしています。

私たちの会社には、「人材は人財である」という言葉が掲げられており、教育や人とのつながりを大切にしています。このイベントがアクティオのファン作りの場となり、将来の仲間になったり、お客さんとしてだったり、地域、会社、人、さまざまな可能性と未来につながっていければ、うれしいです。

### SDGs と密接な会社



企業の活動自体が、循環型社会に必要なシェアリングサービスを担っており、SDGsと深い関わりがあります。また、無償で取引先の実地研修を引き受けたり、市内の道路や側溝の清掃活動をしたり、教育や地域貢献にも積極的に取り組んでいます。

## 三岐通運株式会社

### 「はたらく車お仕事体験」



動画はコチラ



経理部 係長 渡邊 亮弥さん



安全品質管理部 課長 足立 寛幸さん



参加景品のトラック型ペンケース



### 体験を思い出に、将来の選択に

地元根差した運送会社として、地域とのコミュニケーションを図りたいという思いがあり、社内の若手メンバー5人を中心にイベントを企画しました。当初は、小学生向けのイベントの開催は初めてだったので、どうしたら会社に興味を持ってもらえるか、安全に楽しんでもらえるかに頭を悩ませました。景品や子ども用ヘルメット、当日のスタッフ40人の手配など、入念な準備とリハーサルを行いました。

その甲斐もあって、毎年定員を上回る応募があり、三岐通運のトラックを見かけた子どもが「さんぎトラックだ！」と言うようになったという声もいただいています。この体験をきっかけに、三岐通運に親しみを持ってもらい、将来の職業を考える際に選んでもらえれば、とてもうれしいです。

### ほかにもこんなSDGs活動を！

#### スポ GOMI ワールドカップ



従来のごみ拾いにスポーツの要素を取り入れ、競技として新しく発展させた「スポ GOMI」。三重県の海洋ごみへの対策や、環境への意識を高めるため、2チーム6人で取り組みました。

#### リサイクルステーション



ペットボトルを再びペットボトルとしてリサイクルする「水平リサイクル」を促進し、貴重な資源を捨てずに再資源化するためのリサイクルステーションを市内に整備しました。

# 参加者の声

## 三浦さん家族



真美さん 結芽さん 悠輝さん 真吾さん

図工が大好きな子どもたちのために、2つのイベントに参加しました。どちらも授業では使わない工具や専門的な器材に触れられて、とても楽しそうでした。

スプーンやアクセサリ作りでは、「冷たい!」「固い!」と金属の質感を感じながら時間をかけて作りました。愛着を持って家でも大切に使っています。

クリップモーター作りの主催は、父親の私が勤めている会社です。事業内容を学んだ息子は、これをきっかけに別のイベントでも再度、工場見学に来ており、子どもが企業に興味を持ついい機会になっているんだなあと感じました。

どのイベントも、内容の面白さに加えて、景品やお土産にも工夫があるので、親子全員で楽しんでいます。



## 日美さん家族

亜希子さん 佑斗さん 貴之さん

## 参加したイベント

01

### ▶株式会社フジ技研 「つくったものを大切にしよう!」 スプーン・アクセサリづくり体験!

たたいてつくる真ちゅうスプーン、端材を使ったアクセサリやキーホルダーなどを作ることができます。



02

### ▶SWCC株式会社(昭和電線) 「クリップモーターを作ってみよう!」

磁石と電気の原理が分かるクリップモーター作りのほか、フォークリフト乗車体験などが楽しめます。



### ▶涼仙ゴルフ倶楽部 「スナッグゴルフ教室」

スナッグゴルフとは、ゴルフ経験の有無にかかわらず、遊び感覚で気軽に楽しめるスポーツ。緑豊かな広大な敷地で、普段ゴルフになじみのない人でも楽しめます。

親子ともにゴルフにあまり詳しくありませんでしたが、未経験者も歓迎ということで参加しました。

ゴルフコースでプレーしようとなると、技術面でも費用面でもハードルが高いですが、地元でこうした無料の場が開かれているのは、とても魅力的ですね。普段はサッカーに打ち込んでいる息子ですが、「クラブの持ち方からフォームまで丁寧に教えてもらえた」と、とても満足していました。

※開催時期や内容などは変更となる場合があります。

# 今後のイベント

## ▶株式会社デンソー 大安製作所 × 三岐通運株式会社

11月  
予定



### 「衣料回収活動を体験しよう!」

地域から衣料を回収し、衣料不足で困っている海外へ輸送する活動。参加者は、SDGsと衣料回収の関係を学んだ後、デンソーの社員やボランティアスタッフと一緒に、回収した衣料の仕分けや箱詰めから三岐通運のトラックへの積み込みまでを行います。

## ▶株式会社デンソー 大安製作所

2月  
予定



### 「コロコロモーターを作ろう!」

コロコロ回るモーター作りを通じて、磁石と電気の原理を学べます。デンソーの社員のアドバイスのもと、コイルの形を整えたり、エナメル線を手で巻いたりするなど、実際に指先を使って、親子で工夫しながらモーター作りを楽しめます。

## ▶日本航空株式会社(JAL)

11月  
予定



### 「JAL 折り紙ヒコーキ教室」

飛行機の仕組みを遊びながら学べるイベント。折り紙ヒコーキ協会の認定資格を持つJALの社員が、「いかヒコーキ」など、よく飛ぶヒコーキの折り方や飛ばし方を教えてくれます。自分で折った紙ヒコーキがどこまで飛ぶか挑戦してみましょう。

## ▶ヤマザキマザックマニュファクチャリング株式会社 いなべ製作所

2月  
予定



### 「名前入りキーホルダー作り」

事前にキーホルダーのデザインシートを提出して、イベント当日に工作機械での加工を見学します。そこからやすり掛けなどの仕上げ作業を行い、オリジナルキーホルダーを作成します。

触れる、作る、考える、伝える…体験を通じて、SDGsや企業のことを学べるSDGs4Tプロジェクトのイベントに、みなさんも参加してみませんか。